

神奈川県の特別支援教育の現状と課題

1 小・中学校

- (1) インクルーシブ教育の推進について（みんなの教室モデル事業）
- (2) 特別支援学級の設置状況
- (3) 特別支援学級の状況
- (4) 通級による指導の状況
- (5) 教育相談件数
- (6) 医療的ケアについて

2 高等学校

- (1) インクルーシブ教育の推進について（インクルーシブ教育実践推進校）
- (2) 通級による指導の状況
- (3) 教育相談件数

3 特別支援学校

- (1) インクルーシブ教育の推進について（居住地交流ガイドライン）
- (2) 特別支援学校の設置状況
- (3) 特別支援学校の状況
- (4) 専門職の配置
- (5) 教育相談件数
- (6) 医療的ケア実施状況

小・中学校

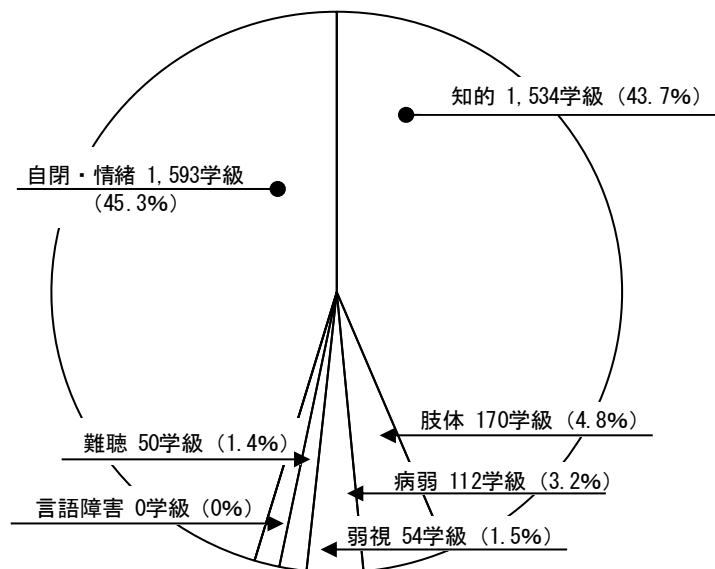
1-(1) インクルーシブ教育の推進について（みんなの教室モデル事業）

市町村立小・中学校をインクルーシブ教育推進モデル校に指定し、すべての子どもができるだけ通常の学級で共に学びながら、必要な時間に適切な指導を受けることができる仕組みである「みんなの教室」について、実践研究を実施。

- 県内4市町の7校（小学校4校、中学校3校）で、「みんなの教室」のモデル事業を実施。
- 「みんなの教室」モデル事業の成果をすべての市町村に周知して普及を図る。

1-(2) 特別支援学級の設置状況（平成29年5月1日現在）

〈学級数〉
小・中学校計 3,513学級



		計	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	自閉症・情緒障害
設置学校数*	平成28年度	1,200	1,181	160	107	50	47	0	1,190
	平成29年度	1,200	1,185	168	112	54	50	0	1,187
	小学校	810	801	121	79	39	29		807
	中学校	388	382	47	33	15	21		378
	義務教育学校	2	2						2
学級数	平成28年度	3,409	1,481	161	107	50	47	0	1,563
	平成29年度	3,513	1,534	170	112	54	50	0	1,593
	小学校	2,455	1,052	122	79	39	29		1,134
	中学校	1,047	477	48	33	15	21		453
	義務教育学校	11	5						6

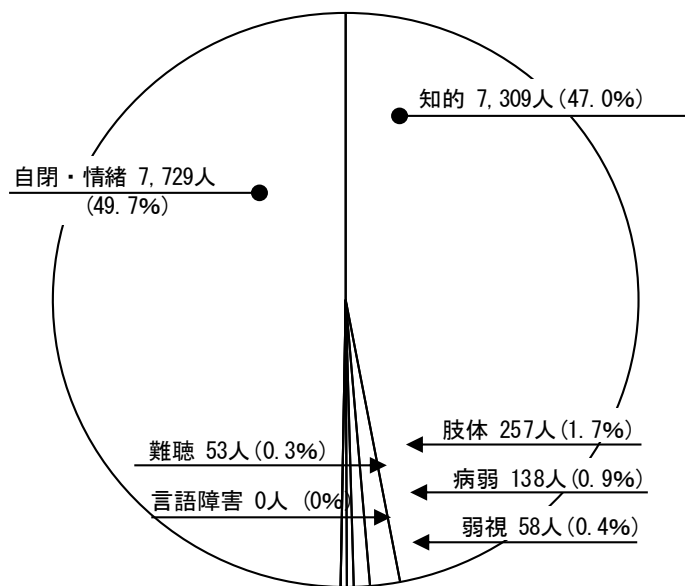
* 「設置学校数」は、各項目の実数。

小・中学校

1-(3) 特別支援学級の状況 (平成29年5月1日現在)

①児童・生徒数内訳

〈児童生徒数〉
小・中学校計 15,544人

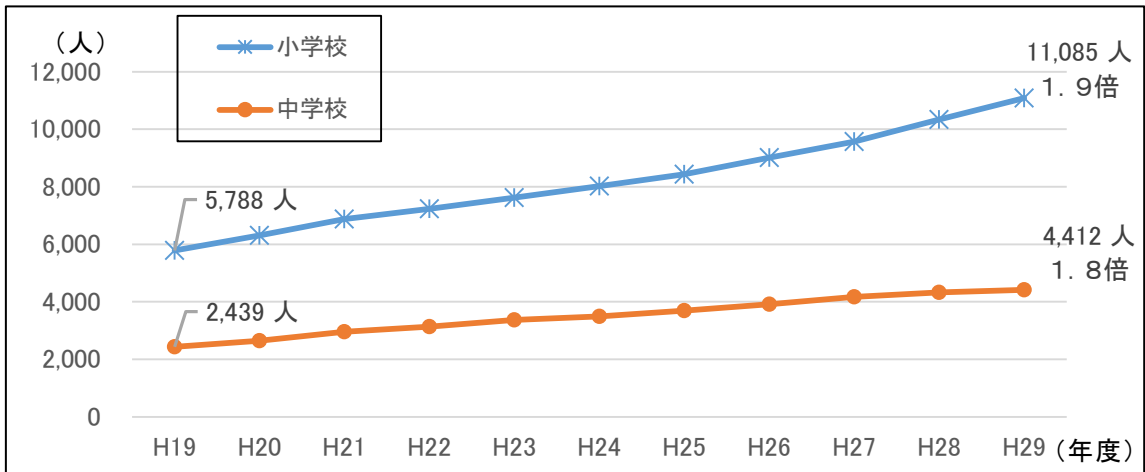


		計	知的障害	肢 体 不自由	病 弱・ 身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	自閉症・ 情緒障害
児 童 生 徒 数	平成28年度	14,687	6,716	241	130	56	49	0	7,495
	平成29年度	15,544	7,309	257	138	58	53	0	7,729
	小学校	11,085	5,070	180	101	43	31	0	5,660
	1年	1,796	881	28	16	5	8		858
	2年	1,897	874	34	16	6	8		959
	3年	1,852	851	30	21	8	4		938
	4年	1,965	921	33	18	8	3		982
	5年	1,865	786	28	16	8	5		1,022
	6年	1,710	757	27	14	8	3		901
	中学校	4,412	2,217	77	37	15	22	0	2,044
	1年	1,465	740	25	17	3	9		671
	2年	1,454	739	28	13	4	7		663
	3年	1,493	738	24	7	8	6		710
義務教育学校	47	22						25	

* 「設置学校数」は、各項目の実数。

小・中学校

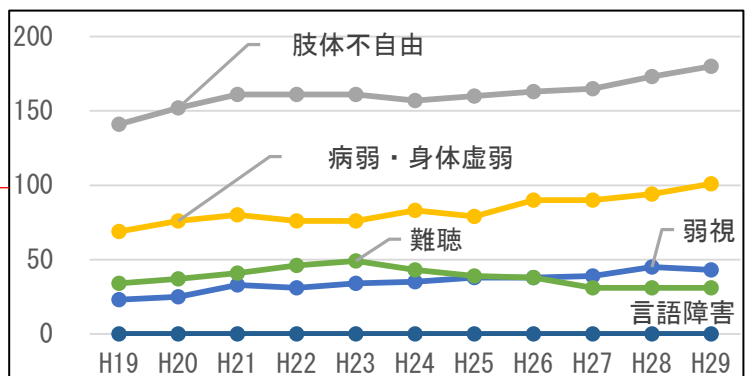
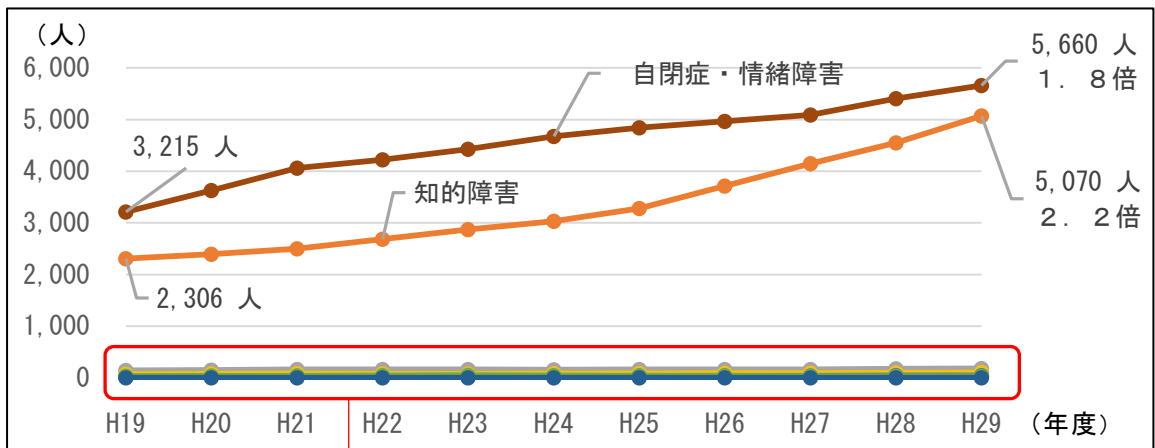
②児童・生徒数の推移（全体）



	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小学校	5,788	6,312	6,872	7,226	7,620	8,025	8,438	9,007	9,567	10,334	11,085
中学校	2,439	2,647	2,961	3,132	3,366	3,486	3,688	3,911	4,170	4,328	4,412

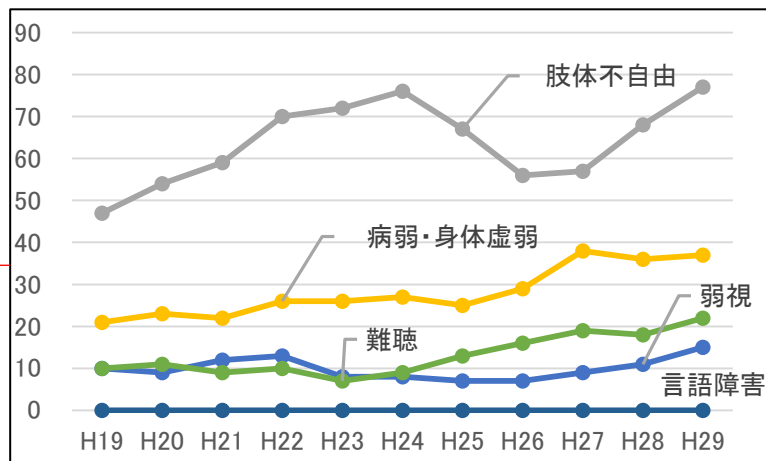
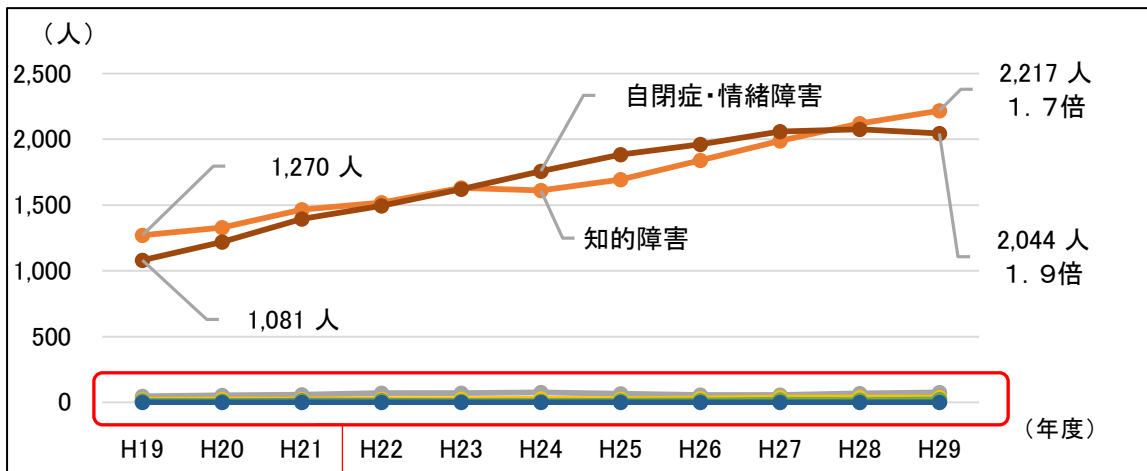
③児童・生徒数の推移（障害種別）

<小学校>



小・中学校

<中学校>



校種	障害種	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小学校	知的障害	2,306	2,393	2,498	2,688	2,874	3,034	3,281	3,714	4,149	4,548	5,070
	肢体不自由	141	152	161	161	161	157	160	163	165	173	180
	病弱・身体虚弱	69	76	80	76	76	83	79	90	90	94	101
	弱視	23	25	33	31	34	35	38	38	39	45	43
	難聴	34	37	41	46	49	43	39	38	31	31	31
	言語障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自閉症・情緒障害	3,215	3,629	4,059	4,224	4,426	4,673	4,841	4,964	5,093	5,407	5,660
中学校	知的障害	1,270	1,330	1,465	1,518	1,631	1,610	1,693	1,841	1,988	2,119	2,217
	肢体不自由	47	54	59	70	72	76	67	56	57	68	77
	病弱・身体虚弱	21	23	22	26	26	27	25	29	38	36	37
	弱視	10	9	12	13	8	8	7	7	9	11	15
	難聴	10	11	9	10	7	9	13	16	19	18	22
	言語障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自閉症・情緒障害	1,081	1,220	1,394	1,495	1,622	1,756	1,883	1,962	2,059	2,076	2,044

小・中学校

④平成 28 年度 中学校 特別支援学級卒業生の進路状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

総計	高等学校等進学者																就職者	その他								
	小計	高等学校全日制						高等学校定時制						通信制 高等学校	特別支援学校高等部					小計	学 校 専 修 各 種	施 設 等	能 力 開 発	公 共 職 業	・ 死 亡 の 他 不 詳	
		国・公立			私立			公立			私立				視 覚 障 害	聴 覚 障 害		知 的 障 害	肢 体 不 自 由							病 弱
		普通	専門	総合	普通	専門	総合	普通	専門	総合	普通	専門	総合													
1425	1366	49	8	1	43		23	4	7	2			168	3	1	1020	24	13	8	51	35		2	14		
100%	95.9%	3.4%	0.6%	0.1%	3.0%		1.6%	0.3%	0.5%	0.1%			11.8%	0.2%	0.1%	71.6%	1.7%	0.9%	0.6%	3.6%	2.5%		0.1%	1.0%		

* 高等学校全日制 7.1% 定時制 2.5% 通信制 11.8%

特別支援学校高等部 74.5% (内知的障害教育部門 71.6%) 就職者 0.6%

その他 3.6%

(各項の比率の計は、小数点2位以下を四捨五入しているため小計の値と一致しない。)

1-(4) 通級による指導の状況 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

①通級指導教室設置学校数

計	107	小学校	92	中学校	10	特別支援 学校	5
---	-----	-----	----	-----	----	------------	---

②障害種別通級指導教室設置学校

	合計	言語障害	難聴	自閉症 情緒障害	LD ADHD	弱視	肢 体 病 虚 弱
小学校	152	68	22	40	22		
中学校	21	4	3	7	7		
特別支援学校	7	2	4			1	
計(のべ)	180	74	29	47	29	1	

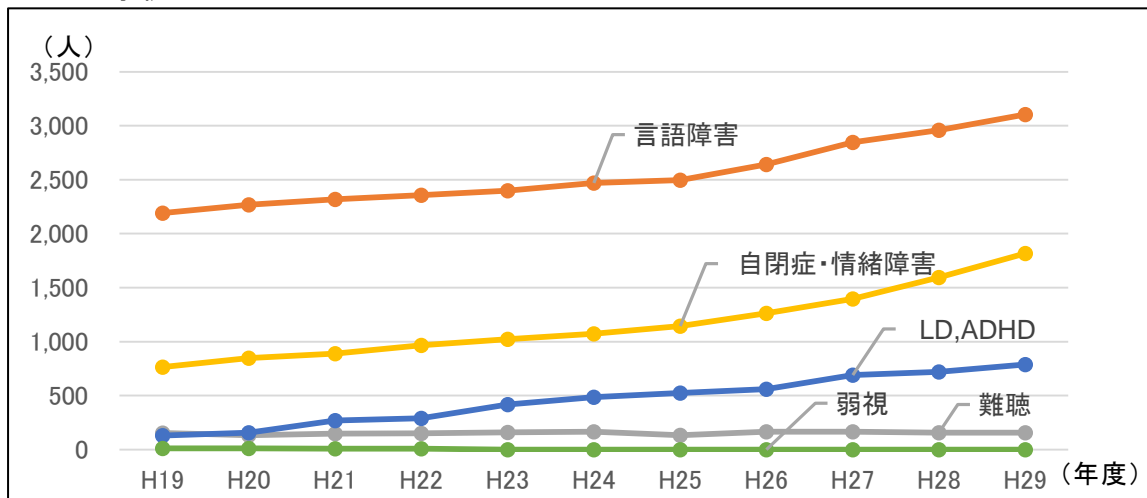
③通級指導を受けている児童・生徒数

障害種別	合 計			小学校			中学校		
	計	自校	他校	計	自校	他校	計	自校	他校
言語障害	3,173	859	2,314	3,104	854	2,250	69	5	64
難聴	197	14	183	156	14	142	41		41
自閉症・情緒障害	2,235	340	1,895	1,817	311	1,506	418	29	389
LD・ADHD	1,172	178	994	787	142	645	385	36	349
弱視									
計	6,777	1,391	5,386	5,864	1,321	4,543	913	70	843

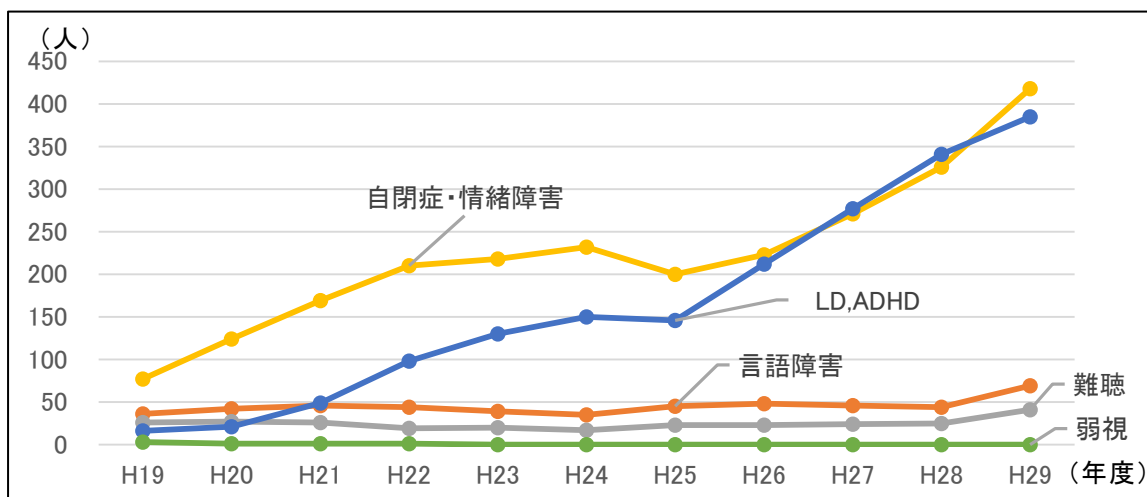
小・中学校

④通級指導を受けている児童・生徒数の推移

<小学校>



<中学校>



校種	障害種	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小学校	言語障害	2,192	2,267	2,318	2,358	2,400	2,470	2,497	2,641	2,848	2,958	3,104
	難聴	153	133	149	152	159	166	132	164	166	157	156
	自閉症・情緒障害	765	847	890	965	1,023	1,073	1,144	1,264	1,396	1,596	1,817
	LD、ADHD	130	156	268	291	417	487	524	559	689	719	787
	弱視	10	10	9	7	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,250	3,413	3,634	3,773	3,999	4,196	4,297	4,628	5,099	5,430	5,864
中学校	言語障害	36	42	46	44	39	35	45	48	46	44	69
	難聴	26	27	26	19	20	17	23	23	24	25	41
	自閉症・情緒障害	77	124	169	210	218	232	200	223	271	326	418
	LD、ADHD	16	21	49	98	130	150	146	212	277	341	385
	弱視	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	計	158	215	291	372	407	434	414	506	618	736	913

小・中学校

1-(5) 教育相談件数

県立特別支援学校の教育相談 小・中学校件数（平成 29 年度）

機 関		来校・電話相談		巡回相談		合計	
		ケース数	件数	ケース数	件数	ケース数	件数
小学校		504	933	1,570	1,767	2,074	2,700
	特別支援学級 (内数)	304	631	787	907	1,091	1,538
中学校		268	533	343	391	611	924
	特別支援学級 (内数)	186	323	161	189	347	512

1-(6) 医療的ケアについて

各市町村においても、小・中学校に通う医療的ケアが必要な児童・生徒が在籍しており、安全かつ安心して学校生活を送れるよう県立特別支援学校の体制を整えつつ、市町村の実情も踏まえた支援体制の整備を進めています。

県立高等学校

2-(1) インクルーシブ教育の推進について（インクルーシブ教育実践推進校）

知的障がいがある生徒に高校教育を受ける機会を拡大するため、県立高校改革実施計画に基づいて、Ⅰ期では、インクルーシブ教育実践推進校のパイロット校として県立高校3校（茅ヶ崎高校・厚木西高校・足柄高校）を指定。

知的障がいがある生徒が、平成29年度には31名、平成30年度には41名が入学。

Ⅱ期では、県内すべての地域から生徒が入学できるようにインクルーシブ教育実践推進校を新たに11校指定する。

チーム・ティーチング、小集団による指導、個別指導といった多様な形態により指導し、すべての生徒ができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育の実践に取り組んでいる。

2-(2) 通級による指導の状況

県立高校改革実施計画（Ⅰ期）に基づき、平成29年に県立高校3校（生田東高校・保土ヶ谷高校・綾瀬西高校）を通級指導導入校に指定し、発達障がい等のある生徒をグループ指導・個別指導するための教材等を整備した。

県立高等学校

2-(3) 教育相談件数

県立特別支援学校の教育相談 高等学校件数（平成 29 年度）

機 関	来校・電話相談		巡回相談		合計	
	ケース数	件数	ケース数	件数	ケース数	件数
高等学校	93	178	199	221	292	399

特別支援学校

3-(1) インクルーシブ教育の推進について（居住地交流ガイドライン）

神奈川県立特別支援学校小・中学部児童・生徒の居住地交流ガイドラインの一部改正について

<改正の趣旨>

特別支援学校では、自立と社会参加を目指し、集団の中で楽しく充実した学校生活を送り、そして、地域社会でいきいきと暮らせるよう、一人ひとりの児童・生徒の教育的ニーズに応じた専門的な指導や支援を行っている。

特別支援学校に通う児童・生徒の地域社会での生活を踏まえ、特別支援学校は、小・中学校等との交流及び共同学習をとおして、相互理解を図ることが重要である。

交流及び共同学習の一つである、居住地校との交流及び共同学習（以下「居住地交流」という。）は、居住地の小・中学校等の児童・生徒とともに学習し交流することで、地域とのつながりを持つことができる。

神奈川県では、平成 12 年に居住地交流のガイドライン（以下「ガイドライン」という。）を定めて居住地交流の取組を進めてきた。この取組により、特別支援学校の児童・生徒と交流する居住地の小・中学校の児童・生徒の相互の理解が進んだ。

現行のガイドラインに沿った居住地交流の取組では、年度が替わる際に特別支援学校の児童・生徒の情報が交流先の学校で十分に引き継がれず、継続的な取組が難しいという課題がある。今回は、その課題を解決するために、ガイドラインを一部改正することとする。

特別支援学校

②学校規模等（設置学部・設置年月日等）

学校規模等

平成30年5月1日現在

種別	学校名	設置学部				学級数	幼児児童生徒数	設置年月日
		幼稚部	小学部	中学部	高等部			
視覚障害	県立平塚盲学校	○	○	○	本・専	20	58	S8. 4. 1
	横浜市立盲特別支援学校	○	○	○	本・専	35	105	S25. 4. 1
	学校法人横浜訓盲学院	○	○	○	本・専	19	41	S26. 2. 1
	(計3校)	3	3	3	3	74	204	
聴覚障害	県立平塚ろう学校	○	○	○	本・専	32	114	S8. 4. 1
	横浜市立ろう特別支援学校	○	○	○	○	39	115	S8. 3. 31
	川崎市立聾学校	○	○	○	○	20	40	S28. 4. 1
	横須賀市立ろう学校	○	○	○	○	12	18	S28. 4. 1
(計4校)	4	4	4	4	103	287		
知的障害	県立鶴見養護学校		○	○	○	65	252	S55. 1. 1
	県立保土ヶ谷養護学校		○	○	○	65	317	S51. 1. 1
	県立みどり養護学校		○	○	○	55	228	S53. 1. 1
	県立瀬谷養護学校		○	○	○	75	327	S46. 1. 1
	県立高津養護学校		○	○	○	54	250	S52. 1. 1
	県立湘南養護学校		○	○	○	35	141	S55. 1. 1
	県立藤沢養護学校		○	○	○	51	237	S52. 1. 1
	県立相模原養護学校		○	○	○	39	181	S50. 1. 1
	県立伊勢原養護学校		○	○	○	38	203	S53. 1. 1
	県立横浜ひなたやま支援学校				○	22	137	H24. 11. 1
	横浜市立港南台ひの特別支援学校		○	○	○	61	194	S46. 4. 1 (*H15. 9)
	横浜市立本郷特別支援学校		○	○	○	64	171	S54. 4. 1
	横浜市立日野中央高等特別支援学校				○	25	189	S56. 4. 1
	横浜市立二つ橋高等特別支援学校				○	20	147	H19. 4. 1
	藤沢市立白浜養護学校		○	○	○	41	135	S37. 4. 1
	学校法人聖坂養護学校		○	○	本・専	11	98	S42. 2. 4
	筑波大学附属久里浜特別支援学校	○	○			18	53	S48. 9. 29
	横浜国立大学 教育学部附属特別支援学校		○	○	○	9	71	S54. 4. 1 (*H29)
(計18校)	1	15	14	17	748	3,331		
肢体不自由	横浜市立上菅田特別支援学校		○	○	○	76	205	S49. 1. 1
	横浜市立中村特別支援学校		○	○	○	34	90	S57. 4. 1
	横浜市立北綱島特別支援学校		○	○	○	30	79	S60. 4. 1 (*H7)
	横浜市立東俣野特別支援学校		○	○	○	19	44	S61. 4. 1
	横須賀市立養護学校		○	○		18	41	S46. 4. 1
(計5校)		5	5	4	177	459		
病弱	県立横浜南養護学校		○	○	○	31	107	S52. 1. 1
	横浜市立浦舟特別支援学校		○	○		12	28	S41. 5. 1 (*H18)
(計2校)		2	2	1	43	135		
知的・肢体不自由	県立金沢養護学校		知・肢	知・肢	知・肢	75	295	H19. 1. 1
	県立三ツ境養護学校		肢	肢	知・肢	48	225	S46. 1. 1
	県立中原養護学校		肢	肢	知・肢	51	205	S49. 1. 1
	県立麻生養護学校		知・肢	知・肢	知・肢	82	304	H17. 11. 1
	県立岩戸養護学校				知・肢	25	151	H21. 11. 1
	県立武山養護学校		知・肢	知・肢	知・肢	50	207	S51. 1. 1
	県立平塚養護学校		知・肢	知・肢	知・肢	69	223	S44. 1. 1
	県立鎌倉養護学校		肢	肢	知・肢	61	233	S54. 1. 1
	県立小田原養護学校		知・肢	知・肢	知・肢	67	280	S53. 1. 1
	県立茅ヶ崎養護学校		知・肢	知・肢	知・肢	53	196	H10. 10. 20
	県立津久井養護学校		知・肢	知・肢	知・肢	19	54	H15. 11. 1
	県立座間養護学校		肢	肢	知・肢	43	199	S54. 1. 1
	県立えびな支援学校		知・肢	知・肢	知・肢	59	230	H28. 4. 1
	横浜市立若葉台特別支援学校		肢	肢	知・肢	43	161	S59. 4. 1 (*H25)
	川崎市立田島支援学校				知・肢	29	150	S47. 4. 1 (*H26)
	川崎市立田島支援学校桜校		知・肢	知・肢		33	97	H26. 4. 1
(計16校(内1分校))		14	14	15	807	3,210		
知病	県立秦野養護学校		知・病	知・病	知・病	46	140	S33. 10. 1
(計1校)		1	1	1	46	140		
知肢病	川崎市立中央支援学校		知肢病	知病	知	77	329	S37. 4. 1 (*H26)
(計1校)		1	1	1	77	329		
視知聴肢	県立相模原中央支援学校	○	○	○	○	88	278	H22. 11. 1
(計1校)		1	1	1	88	278		
合計 (計51校(内1分校))		9	46	45	47	2,163	8,373	*=校名変更

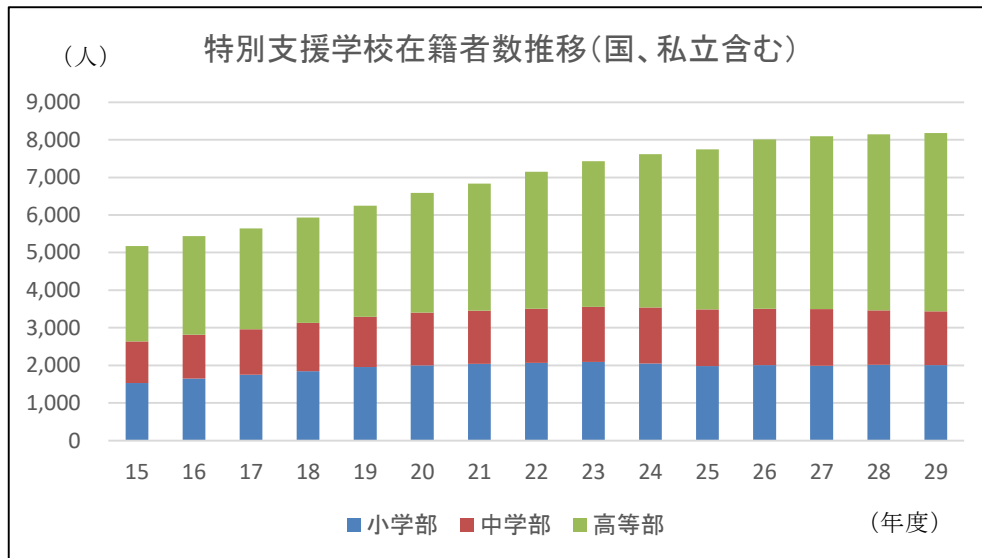
「設置学部」：本・専=高等部本科及び専攻科 知=知的障害 肢=肢体不自由 病=病弱

特別支援学校

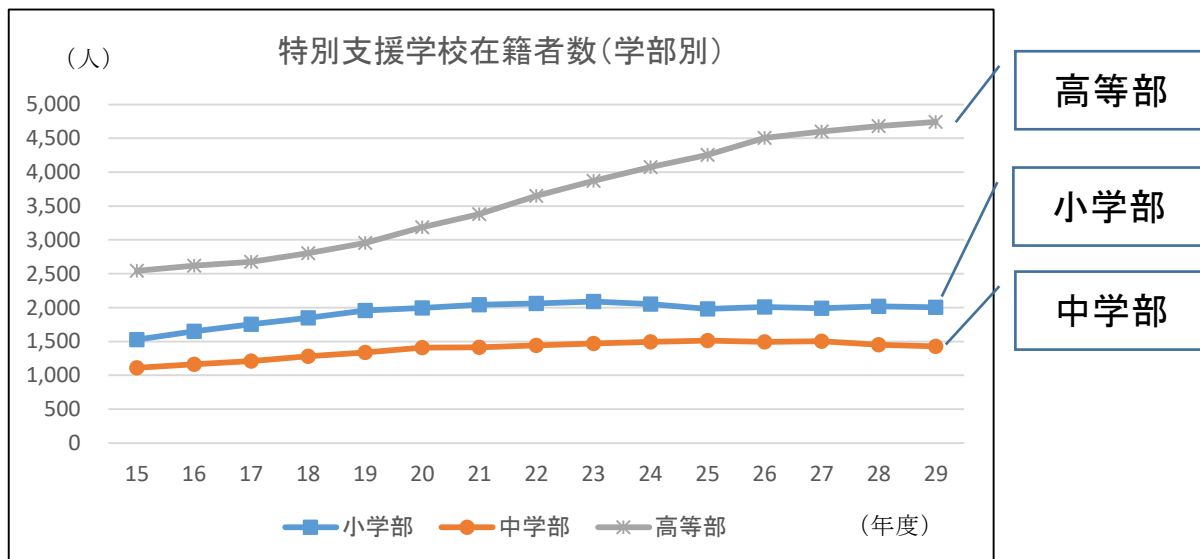
3-③ 特別支援学校の状況

①児童・生徒数の推移 (平成29年5月1日現在)

<全体>

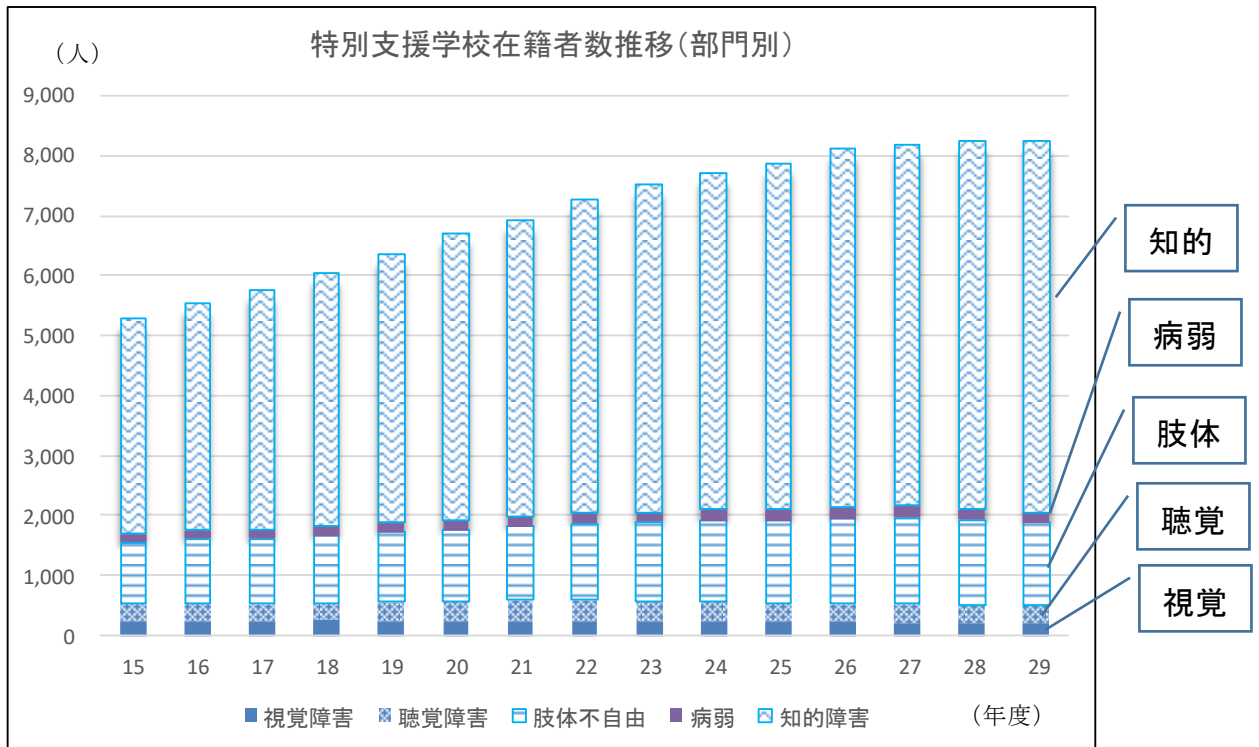


<学部別>



特別支援学校

<部門別>



年度	15	16	17	18	19	20	21	22
視覚障害	236	236	227	258	252	250	239	252
聴覚障害	307	312	304	294	307	331	346	341
肢体不自由	1,002	1,059	1,080	1,106	1,159	1,179	1,235	1,275
病 弱	151	148	153	173	157	162	166	169
知的障害	3,588	3,795	3,981	4,224	4,481	4,778	4,951	5,217
計	5,284	5,550	5,745	6,055	6,356	6,700	6,937	7,254

年度	23	24	25	26	27	28	29
視覚障害	247	247	235	226	221	205	207
聴覚障害	327	330	316	309	310	314	302
肢体不自由	1,316	1,338	1,355	1,416	1,428	1,408	1,379
病 弱	171	198	203	190	199	180	164
知的障害	5,461	5,607	5,747	5,975	6,038	6,129	6,206
計	7,522	7,720	7,856	8,116	8,196	8,236	8,258

②高等部知的障害教育部門入学者選抜における抽選実施状況

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
箇所	3	4	5	3	19	6
人数	3	16	9	12	53	14

特別支援学校

③平成 28 年度 特別支援学校中学部卒業生の進路状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

種 別	合 計	高等学校等進学者						福祉施設等																	
		小 計	高等学校			特別支援学校		小 計	児童福祉施設	更生施設	授産施設	新法施設					地域活動センター	地域作業所	その他施設（医療機関含む）	在宅					
			全日制	定時制	通信制	自校高等部	他校高等部					療護介護	生活介護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援									
視覚障害教育	11	11				10	1																		
聴覚障害教育	18	18				17	1																		
知的障害教育	349	344				326	18	5	4															1	
肢体不自由教育	98	98				96	2																		
病弱教育	8	7	1			5	1	1																1	
小計	455	449	1			427	21	6	4														1	1	
合計	484	478	1			454	23	6	4														1	1	

④平成 28 年度 特別支援学校知的障害教育部門中学部卒業生の進路状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

合 計	高等学校等進学						福祉施設等		
	小 計	全日制	定時制	通信制	自校高等部	他校高等部	小 計	児童福祉施設	その他
349	344				326	18	5	4	1

* 高等部進学 約 99% (内約 93%が自校高等部へ進学)

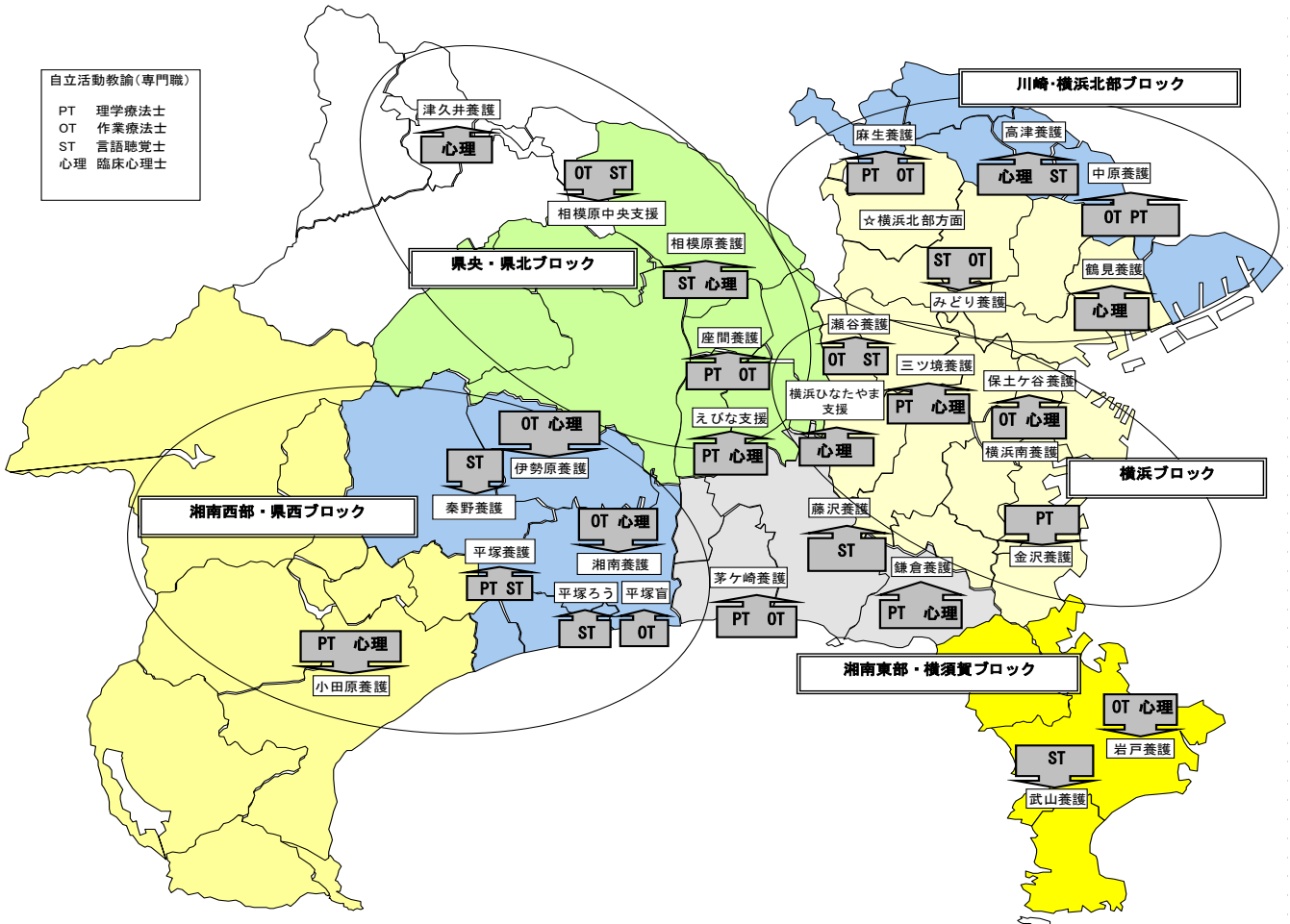
特別支援学校

3-(4) 専門職の配置

① 県立特別支援学校への専門職の配置人数 (平成30年度)

年度	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
合計人数	12名	23名	27名	30名	35名	38名	41名	43名	45名	45名

② 県立特別支援学校の専門職配置図 (平成30年度)



PT…理学療法士 OT…作業療法士 ST…言語聴覚士 心理…心理職

特別支援学校

3-(5) 教育相談件数

① 県立特別支援学校の教育相談 特別支援学校件数（平成 29 年度）

機 関	来校・電話相談		巡回相談		合計	
	ケース数	件数	ケース数	件数	ケース数	件数
特別支援学校	79	118	389	464	468	582

② 県立特別支援学校の教育相談 実施件数（平成 29 年度）

校内相談	校外相談	
校内	来校・電話相談	巡回相談
13,757	3,402	3,033
	6,435	
20,192		

※就学前、小学校・中学校・県立高等学校、特別支援学校、その他の総数

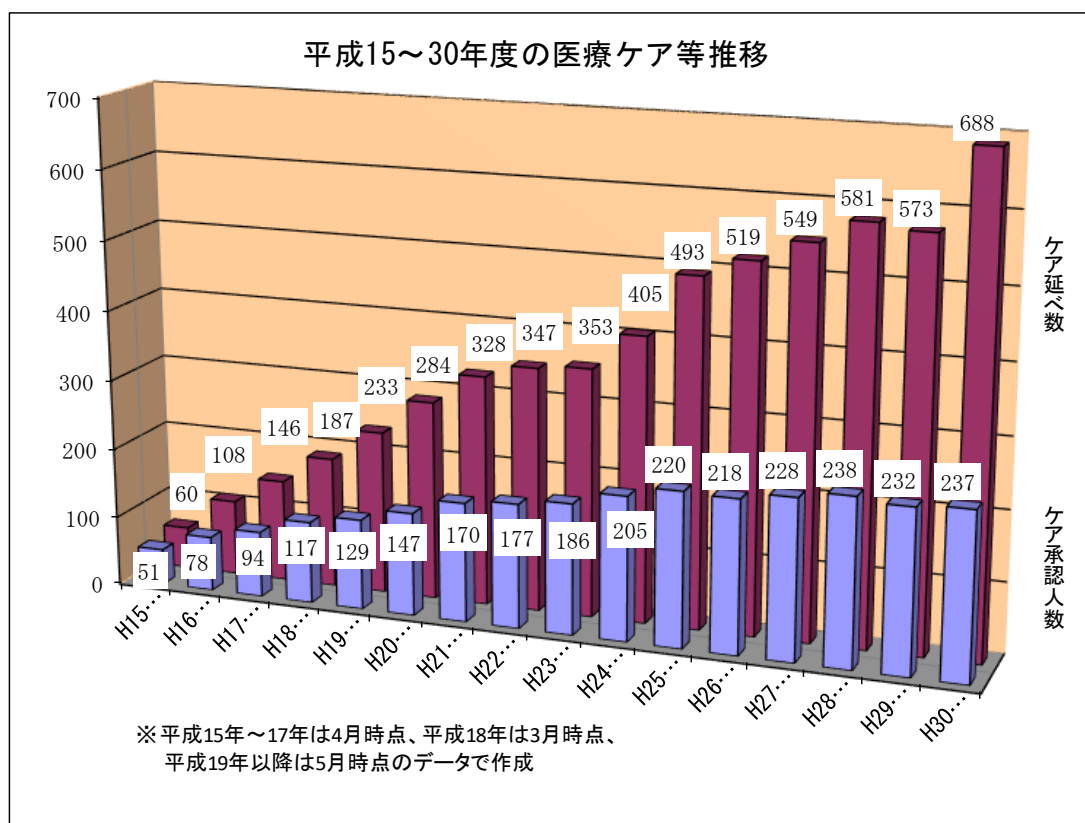
特別支援学校

3-(6) 医療的ケア実施状況

①医療的ケア等実施承認者数の推移

	H15 年 4月	H16 年 4月	H17 年 4月	H18 年 3月	H19 年 5月	H20 年 5月	H21 年 5月	H22 年 5月	H23 年 5月	H24 年 5月	H25 年 5月	H26 年 5月	H27 年 5月	H28 年 5月	H29 年 5月	H30 年 5月
ケア承認人数	51	78	94	117	129	147	170	177	186	205	220	218	228	238	232	237
注入	26	51	61	79	92	108	130	131	137	165	212	227	240	259	265	345
吸引	23	43	61	81	103	115	145	147	140	158	186	183	192	209	203	203
吸入	8	8	11	12	19	19	23	25	25	26	20	19	21	20	21	19
導尿(自己・介助)	2	4	4	3	6	9	5	5	8	7	7	7	9	11	10	10
摘便	0	1	1	2	1	2	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
糖尿病関係	0	0	0	0	2	1	0	2	4	6	6	5	3	2	1	1
気切・エアウェイケア	0	0	1	3	3	2	2	14	11	19	29	37	38	33	33	61
浣腸	0	0	1	2	3	1	2	3	2	1	2	2	2	1	1	3
膀胱洗浄	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
酸素療法	1	0	3	3	3	9	12	15	18	17	17	16	20	25	25	27
人工呼吸器療法	0	0	1	1	0	1	0	0	2	2	2	3	4	6	8	8
その他	0	1	2	1	0	16	5	4	4	4	12	20	20	15	6	11
ケア延べ数	60	108	146	187	233	284	328	347	353	405	493	519	549	581	573	688
医療的ケア等実施校数	8	9	10	11	11	12	12	13	14	14	14	14	14	15	14	16
看護師数(常勤)	15	16	17	17	19	22	22	23	24	24	24	28	28	29	29	29
非常勤看護師数	0	0	0	0	0	3	9	9	9	9	9	9	9	9	9	15

※横浜南養護学校を除く



特別支援学校

②看護師配置状況

看護師配置状況(経年)

年度	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
医療ケア等 実施校数	8	9	10	11	11	12	12	13	14	14	14	14	14	15	14	16
実施者数	51	78	94	117	129	147	170	177	186	205	220	218	228	238	232	237
本課	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
常勤 (定数配置)	15	16	17	19	19	22	22	23	24	24	24	28	28	29	29	30
学校非常勤						3	9	9	9	9	9	9	9	9	9	15
合計	16	17	18	21	21	27	33	34	35	35	35	39	39	40	40	47

